

渋川市小中学校PTA



「かけはし」命名の由来

新生市P連～親・子・先生、一つになつて各地区に「心の橋」をかけよう。



第10号

平成29年2月発行

◇発行◇

渋川市小中学校PTA連絡協議会

ホームページアドレス

http://shibukawa-pta.jimdo.com/



明るく楽しく元氣良く

渋川市小中学校PTA連絡協議会 会長 八高 和幸



子どもの成長にある節目を大切にし、その時々の子に合った子育ての目標を持ち、子どもと一緒に行事にかかわることで、子どもの目標や夢も知ることが出来ます。

平素は、市P連の活動に対してご理解ご協力いただき深く感謝を申し上げます。PTAは子ども達の健全な育成を図ることを目的に、保護者と先生が協力して学校・家庭・地域社会における教育に関する理解を深め、教育の振興に努めることを第一義に掲げています。

教育懇談会

7月11日に、市役所第二庁舎で「PTAのあり方」をメインテーマに「教育懇談会」が開催されました。

「PTAのあり方」とは 7/11



テーマは「PTA活動へのIT活用」、「本部役員や学校への依存」、「PTA組織や事業の見直し」など、どの単位PTAの課題でもあることから、議論はとて白熱しました。

小中学校PTA大会

10/29

渋川市小中学校PTA大会を10月29日にアネーリ渋川で開催しました。阿久津市長をはじめ、多数のご来賓のご臨席をいただきました。

事例発表では、古巻中学校PTA剣持会長による教職員、保護者、地域が一体となって生徒を育てる「古巻共育」などの発表がありました。

受賞者一覧

感謝状 49名 (敬称略・順不同)

井口亨・綿貫慈(渋川南小)、狩野淳・矢島智子(豊秋小)、和田隆・星野清美(渋川中)、梅澤剛敏・東堂あずみ(渋川北小)、近藤仰・三浦雅代(渋川西小)、松村浩・新井紗由利(渋川北中)、眞下陽子・池澤睦美(金島小)、岸五恵美(金島中)、竹内利彦・山田彩子(古巻小)、福島丘泰・萩原由美子(古巻中)、山田量俊・樋本彩子(伊香保小)、山田衡・本郷睦代(小野上小)、小野和則・横尾則子(小野上中)、千明和哉・木暮由紀(中郷小)、島田浩爾・阿久澤美和(長尾小)、森谷哲也・石北小百合(子持中)、萩原誠・永井悦子(三原田小)、角田道代・渡辺香(刀川小)、佐藤大介・大島まつ美(赤城南中)、田子英介・鍋島小百合(津久田小)、加藤久司・前田朋美(南雲小)、田子忠幸・堀部真理子(赤城北中)、小林真人・楯幸子(橘小)、吉沢喜好・佐藤のり子(橘北小)、大橋千恵・狩野幸子(北橘中)

表彰状 4名 (敬称略・順不同)

原澤弘・井上敦美(渋川北小) 齋藤千恵美・杉村直子(金島中)



Aグループ

「PTA活動と仕事の両立」

会議や行事と仕事との日程調整が難しいとの意見が多く、副会長をはじめとする役員同士で調整することで対応しているといった実践例も見られた。また、会社からの理解も不可欠との意見も挙げられた。

Bグループ

「PTA活動へのIT活用」

HPやSNSは、情報発信・共有に便利ではあるが、個人情報の取り扱いやセキュリティ上の課題もある。子ども達がスマホ等の情報機器を使いこなしている現在では、大人たちがIT活用の功罪を知る事が大切とまとめた。

Cグループ

「役員や学校への依存」

学校規模により、状況は異なるが、本部役員や学校に一任している現状が各校に見られた。PTA会員として、各自が無理のない範囲で活動に参画する、学校と保護者それぞれができることで役割分担をする、という結論が出された。

Dグループ

「PTA組織や事業の見直し」

各校の事業を紹介し合う中で、地域特性による様々な事業が挙げられた。子ども達の安全安心に直結する事業へは、多くの会員が参加する傾向にあり、会員が参加しやすい環境作りが今後の課題として挙げられた。

Eグループ

「役員やPTA活動への参加意識」

「参加する意識を高める」という視点から参加するメリットを話し合った。①子どもを身近に感じられる②教員との関係も密接になる③親同士の親睦も深まるといった点があるが、なによりもやりがいを感じられるという事が大きい。



コラム

「人生、常に勉強そして進化」

金島中 T. Y

長きにわたり携わってきたPTA活動も今年度末をもって終了する。この間、様々な体験をさせて頂いた。

初めて役員に就任した時には、話の内容、専門用語さえもわからぬ始末であったが、仲間のアドバイス、独学により少しずつ慣れてきたことを思い出す。その後には、関東ブロック大会、群馬県大会、渋川市大会等のPTA大会の企画・運営を始めとして、このPTA連絡協議会の合併協議、新組織及び行事等の立案、そして運営。

様々な行事のなかで、多くの仲間に出会い、協議し、とても勉強になる時間を過ごすことができたと感じている。

何事もそうであるが、様々な意見を出し合い、意見交換しながらそこから最善の策を見出していくことが重要であり、他人任せにしたりすることは決してしてはならない。今後、この小中学校PTA連絡協議会も進むべき方向を全員で確認し、同じベクトルで更なる進化を期待する。



# スポーツ交流会

10/15

## バレエで芽生えた絆

上がる息、纏れる足・・・高ぶる気持ちとは裏腹に体がいうことを聞かない。20年振りのバレエボール。あの頃、授業や部活でこんなにも走り回っていたのかと懐かしく思う。

今は子供達の安全と環境作りを担うPTAの一員としての私達がいます。縁あってPTA役員を務めさせて頂き、2年連続参加となった。昨年、今年度もそれぞれ練習は1回。ほとんどぶっつけ本番。

しかし、参加してくれたメンバーは誰もが笑顔だった。自然に声を掛け合い、お互いの体を気遣う。「大丈夫？明日は絶対筋肉痛だよ。」「私、もう体が動かない。」そんな会話からコミュニケーションが生まれ、絆が芽生えたことに、この大会の意味があったと感じる。

また、各単Pの雰囲気や行動に刺激され参考になることが多かった。これから渋川市P連が一体となることで地域活性化し、渋川市が子供達にとって、私達にとって自慢できる故郷になることを望む。



優勝した中郷小

### ソフトバレーボール大会成績

**優勝 中郷小**  
**準優勝 渋川西小**

決勝トーナメント進出

渋川中、金島中、古巻小、子持中

交流戦コート1位

渋川北小、長尾小、赤城南中、赤城北中



# 定期総会

5/21

5月21日にアネーリ渋川において平成28年度定期総会を開催しました。当日は、市長、市議会議長をはじめとする多数のご来賓のご臨席をいただきました。

議事では、平成27年度の事業報告、収支決算報告及び監査報告がなされ、全会一致で承認されました。引き続き、平成28年度の役員(案)、事業計画(案)、予算(案)が審議され、全会一致で決議され、八高和幸新会長のもと、新年度の活動をスタートさせました。



# 県PTA大会

11/26

11月26日に前橋ベイシア文化ホールにて第62回群馬県PTA大会が開催されました。

開会前にアトラクションとして前橋児童文化センター合唱団による歌の披露があり、元気のよい歌声と子どもたちのパワーに感動と元気をいただきました。

大会式典では、表彰の紹介として優良PTA文部科学大臣表彰や広報誌コンクール入賞PTAの表彰を行いました。

講演会は、前橋市出身のROGUEの奥野敦士さんと香川誠さんによる講演で「人は、ひとと、生きていくんだ。」という演題で行われ、昔の思い出話から、バンドを組んだきっかけ、そして奥野さんが不慮の事故に遭い車椅子生活になり、ここまで歩んできた半生をお話し頂きました。現在も車椅子生

## 第64回日本PTA全国研究大会

徳島うすしお大会 報告 8月20・21日

市P連理事 金子 渡(豊秋小)

徳島県徳島市で開催された第64回日本PTA全国研究大会に行ってきました。

初日は「地域防災を支えるひとづくり」震災から学ぶ家庭・学校・地域のパートナーシップ」がテーマの分科会に参加し、東日本大震災からの復興教育に取り組んだ講演と、防災教育のパネルディスカッションを聞きました。小学校で防災訓練を繰り返すうちに避難行動が、どんどん上手になってい

群馬県は災害が少ないと言われていますが、災害が起きて「生き抜く」ことや「思いやる」こと「助け合う」ことができる子どもたちを育てていかなければならないというパネリストの言葉が心に残ります。

自校でもPTA主催の防災訓練を実施する際は、地域にも参加を呼びかけ「子どもも大人も学び合う」訓練にできるように取り組んでいきます。

2日目の全大会歓迎アトラクションの阿波踊りも素晴らしく、貴重な経験をさせていただいた2日間でした。



# 市民まなびの日

11/26

活ながら、ROGUEを再結成し地道に音楽活動と講演活動にも力を入れているそうです。

来年度は10月22日に関東ブロック研究大会群馬大会が開催されます。群馬県全体で分担し運営する大きな大会です。群馬の良さをPRするのにもちろんの事、他県からの皆様をお招きするので、PTA全体で一致団結して成功させましょう！

市教育委員会では、平成19年度に11月1日を「しぶかわ市民教育の日」と定め、以来記念事業として「しぶかわ市民まなびの日」を開催しています。

展示コーナーでは、青少年健全育成関係団体の活動紹介の展示がされており、体験コーナーでは、ペットボトルを使用した工作教室が行われ、来場者の方々が楽しそうに取り組んでいました。



式典後の少年の主張、渋川市家族の日作文の発表では、10名の小中学生が登場し、子供たちの思いや、家族への感謝の気持ちが伝わる、とても良い発表でした。

## 第48回関東ブロックPTA研究大会

茨城大会 報告 10月21・22日

市P連副会長 眞下 陽子(金島小)

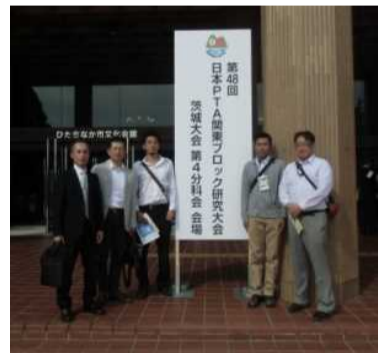
茨城県ひたちなか市で開催された第48回関東ブロック研究大会に参加してきました。

初日は8つの分科会に分かれた講演と事例発表が、2日目は全体会が行われました。

私はテーマを「地域連携」とした第6分科会に参加しました。講演は(株)鹿島アントラー

人になるにつれ「妥協と我慢」がどんどん増え、諦めることばかりの日々を送っていました。

諦めない大人がいて、夢を叶えた実話が聞けたことは私にとって有意義でした。皆さんもいろいろな講演にぜひ積極的に参加してみてください。感動したり、知識が増やせたり、中には人生観が変わるようなことがあるかもしれません。



最後に、関東合唱コンクールで金賞を受賞した渋川女子高校コーラス部による合唱と「心と体をぐんぐん伸ばそう」を日々の目標とする行幸田保育園の元気いっぱい演奏がありました。

## 編集後記

平成28年度もあとわずかとなりました。広報紙「かけはし」は第10号を迎えます。

市P連では、各単Pの連携を強めるべく、親睦会や研修会など、多くの活動を行って参りました。懐かしいと思う報告もあるのではないのでしょうか。これらの活動が今後のPTA活動の一助となれば幸いです。

編集に携わった広報委員会の皆様、誠にありがとうございました。

## 広報委員

- 田中 憲一(伊香保小)
- 津久井 哲也(渋川南小)
- 荒井 啓亮(渋川北小)
- 山内 崇仁(金島中)
- 太田 正樹(子持中)
- 新井 勉(三原田小)
- 須田 真(津久田小)
- 狩野 京介(橋北小)